



せたがや 介護ネットニュース

第41号

発行日：平成26年4月28日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

「知っていて得する薬の話」～今まで知らなかった薬の知識を学ぼう～

研修グループ主催 第4回スポット研修を開催しました。

平成26年3月13日、研修グループでは今年度最後の企画として、薬局成城フアーマシー祖師谷店 管理薬剤師、荒木恵氏に講師をお願いし、成城ホール集会室CDにてお薬の知識に関する研修を開催しました。

当日はお天気が悪い中たくさんの方が参加してくださいました。本当にありがとうございました。

研修は、①薬が体に効く仕組みとして、薬の原料、吸収される仕組みや代謝、排せつまでの流れを教えてくださいました。また、そのことによる薬の副作用も勉強しました。また、お薬の飲み忘れの時はどうしたらいいのかなどは、日ごろのケアにも関係するので「勉強になった」という声がたくさんありました。②薬と食べ物の飲み合わせについては、ワーファリンと納豆や降圧剤とグレープフルーツなど、組み合わせてはいけない食べ物があることを教えてくださいました。しかし、同じ柑橘類でも食べ合わせても大丈夫なものがあることも伺いました。③具体的な疾患と薬についてや、④高齢者の服薬における注意点などは分かりやすい表にしてくださいとお話いただき「理解しやすかった」との声がありました。



ほかにも参加された皆様からは「身近にある薬のことで知らないことがたくさんあった。」「日ごろのケアとして薬と食べ物について気をつけたい」などの意見がありました。

研修グループでは参加者の方からのアンケートを元に、旬な研修を企画しています。今回も、成年後見制度、福祉用具を使った研修などたくさんご要望がありました。平成26年度の企画もたくさんの方のご参加お待ちしております。

研修グループ代表 宮川英子

在宅介護経営部会第2回定例会報告

平成26年3月14日にシモキタステーションにて第2回定例会を開催しました。出席者19名。

慈恵医大准教授・厚木市立病院精神科部長の西村浩医師を講師に、精神科医と話そう「医療と介護の連携」と題した講演のもと、多くの事例から連携する事の意義を協議しました。



西村医師には精神科医の立場から、多くの対応事例を持参下さり、医療現場での様々な状況やそれにまつわる実情を細かに伺いました。介護現場での実情との違いや協働の仕方等、分かりやすく意見交換もして頂いた。経営に関しては、リスクマネジメントを考え、現場に即した運営に努める事。利用者だけでなく、従業員の気持ちにも踏み込む必要をご教示頂きました。後半は懇親会として更に気さくに、お話しを深められました。参加者からは、多くの現状認識のズレや医療面での援助の違い等を、学ぶ事ができたとの意見を頂きました。特にメンタルケアに関して、更なる探究と実施の重要性を再確認する事となりました。

そして次年度に向けて、更に多くの学びの機会を持つように、初参加の方達とも多くの意見交換を行えました。

在宅介護経営部会代表 磯崎寿之

～訪問介護第3回定例会～

3月16日、成城ホール集会室CDにて、世田谷区介護保険課 宮崎係長にお越しいただき、訪問介護第3回定例会を開催しました。

26年4月から消費税8%に上がることにより介護報酬単価が変わることを皮切りに、27年度は法改正も控え、訪問介護事業所の不安は募るばかりです。

訪問介護連絡会では、より早く情報を共有しようということで企画しました。

今回は宮崎係長から決まっていることをお話しいただき、地域毎にお話をするという企画でしたが、予定以上に宮崎係長よりたくさんの資料と情報提供をお話いただきました。

地域ごとの話し合いの時間は短くなりましたが少しは不安が解消できたでしょうか。やはり、予防支援のことが皆さん心配でした。（予防は29年4月までに全事業が区の委託に移行されます。）特に、区の事業に委託された後、訪問介護の事業所はどうなるのか？ボランティアが守秘義務を守れるのかとトラブルについても心配。



まだ、ガイドラインも出ていないということで答えられないことも多い状況でしたが、将来利用者負担が「2割負担」「1割負担」になるというお話は、説明はだれがするのか、介護保険料を払いさらに2割負担では利用者が減るのではという意見もありました。

これからも保険改正の動向からは目が離せません。少しでも正確に早い情報を入手し皆さんと共有したいと思います。

また、事業所によってサービスの提供時間がバラバラであるという意見もありました。会社の方針であれば仕方がないとは思いますが、1時間介護保険＋自費という事業所がいまだあるのは残念です。

最後に第1回定例会のあんすことの交流での意見をまとめた資料を配布しました。今後、訪問介護連絡会にて統一見解をだしHPにアップしたいと思います。世田谷から訪問介護事業所モデルを発信していきたいと思いをします。

26年度の活動にご協力よろしくお願いたします。

訪問介護連絡会代表 宮川 英子

「連載コラム」

（毎回、世田谷ケアマネジャー連絡会よりコラムを寄せて頂いています。）

第2回目のコラムで、ケアプラン作成にはアセスメントが重要であると書きましたが、ケアプラン作成後はモニタリングが大事となってきます。ケアマネジャーは運営基準の中に、毎月1回は利用者の居宅で面接を行い、モニタリングの結果を記録に残すことが定められています。モニタリングは利用者家族の意見だけでなくサービス事業者とも連携を取る必要があります。ですから事業所から頂くサービス報告などは重要なモニタリング材料となります。また、実際にどのようにサービスが提供されているのかを確認する為、利用者の通っている時間帯にデイサービスを覗いてみたり、ヘルパーの活動時に自宅を訪問する場合があります。昔はケアマネがサービス中に訪問してきて迷惑だ

った、などの苦情を事業所から頂くこともありましたが、さすがに最近はそんなことはなくなりました。サービス事業者の方とのより良い連携があって初めてケアマネジメントが成立し、利用者の自立に向けたケアプラン作成につながってくるのです。



世田谷ケアマネジャー連絡会 川嶋望恵子

「情報交換・改正後の通所、どう変える？どう変わる？」

3月18日に上記のテーマで定例会を開催しました。24事業所、34名の参加を頂き、消費税増税に伴う介護保険改正の単価変更や現時点で分かる情報について、情報を交換、共有する事ができました。

また、「相談員の役割」「要支援者への対応」「稼働率を上げるには」「災害対策」「プログラムについて」などテーマを設けて、参加者がそのテーマでグループディスカッションする時間を作りました。40分ほどの時間でしたが、活発な意見や疑問、他の事業所での対応や対策などを聞く機会となり、時間が短く感じるほどでした。参加者には、自分の興味あるテーマを選んでもらう形式でしたが、「あのテーマも聞きたい、参加したいし、このテーマも興味ある…」というような言葉があちこちから聞かれ、

各事業所で悩みは多岐にわたるのだと改めて感じました。

毎年、年度末には情報交換として、自由意見や疑問などを話し合う定例会を開催するのですが、今年度の定例会では、来年度の介護保険改正に向けて、会員の皆様と一緒に考え、情報を共有できるような機会を作りたいと考えています。

平成26年度の通所連絡会は、昨年度以上に会員の皆様にとって、有意義な研修や機会を提供できるよう企画しておりますので、よろしくお願ひ致します。

せたがや通所連絡会幹事 河合靖子



～リレー随筆～

近頃、〇〇カフェと言われる場所が多くなってきたようです。

本に出ていたり、旗が出ていると、思わずどんな所だろうか？覗いて見たくなくなってしまいます。

福祉の事業所として地域の方達に何かできることはないだろうか？と思いつつ、とにかく時間がない、事業所は狭いからとても人が集まる事は出来ない、やはり無理！介護事業所があるというだけで、地域の方達は気にも留めないのでは。

実は、事務所を借りている同じ建物の大家さんが、昔から地域の場所作りとしてミニサロンや地域共生の家を長年にわたって行ってきました。しかし、そ



れも1人の力だけでは無理があり、辞めることになりました。昨年もう一度運営方法を変え、地域の方達に何とか場所を提供したいと言われ、色々な職種の方達が企画委員として集まり（もちろんボランティアで私も参加です）、アイデアを出しながら運営を行って行く事になり、5/13に「こめこめカフェ」を再開することになりました。最初は月2回で食事、お茶、おしゃべり、イベント。また、年齢も高齢者、子育て中のママ、介護中の方など、色々な方達が集まれるように、今まで出来なかった地域の方達と繋がってゆくことが出来れば嬉しいですね。

次は、セントケアの丸茂さんにリレーします。

世田谷訪問介護 青い空 松本和子

「言(こと)の葉(は)にのせて送る介護の心3～言語的コミュニケーション能力を上げるには～」

近頃妙に長たらしい表現が流行っている。原因にはいくつかあるが、自らの敬語表現に自信がないことが背景にある。長い表現を使った方が丁寧な表現に聞こえるのではないかと思ひ不要に長くなる。また、人間関係の緊張が高くなっていることも不必要な敬語を使う原因になっている。では、次の表現のおかしいところを考えてみよう。

①「Aさんの携帯でよかったですでしょうか？」

相手を確認するのが目的であり、「Aさんでしょうか？」と言えば済むことであり、丁寧な表現をしようとする気持ちが上滑りしている。

②「介護保険証を預からさせていただきます。」

「～させていただきます」と言う表現は敬語として誤りであるだけでなく、妙に媚びたところがあるので避けた方がいいでしょう。「～をお預かりしま

す」、「～を預かります」と率直に話した方が心が通じます。

③「それ、取ってもらってもいいですか？」

これも聞いていて嫌な気持ちになる。「それを取ってください」と率直に言ひましょう。

④「正解された方の中から3名様に景品を差し上げます。」

文化放送で毎日のように流れています。「正解者の中から3名に…」とした方が短く分かりやすい。

話すときは短く、分かりやすい(簡潔な)言葉、表現を選ぶように心がけるとより効果的で心の通じるコミュニケーションが可能になります。頭の隅に残しておいてください。

NPO わかば 辻本きく夫

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆平成 26 年度総会

平成 26 年 5 月 22 日（木）19：00～20：30

会場：成城ホール集会室 CD

内容：平成 25 年度活動報告

平成 26 年度事業計画など

資料発送：平成 26 年 5 月連休後

出欠確認：平成 26 年 5 月 16 日締切

◆研修グループ☆

1) 第 1 回スポット研修

「明日から役立つヘルパー研修（介護技術）」

平成 26 年 6 月 25 日

会場：成城ホール集会室 CD 講師：未定

◆訪問介護連絡会予定☆

1) 「災害対策（仮）」

平成 26 年 6 月予定

2) 「連携（仮）」

平成 26 年 10 月予定

3) 「介護保険法改正に向けた情報交換（仮）」

平成 27 年 3 月予定

◆通所連絡会予定☆

1) 「リハビリテーション（仮）」

平成 26 年 6 月 17 日

2) 「防災（仮）」

平成 26 年 9 月 16 日

3) 「口腔ケア（仮）」

平成 26 年 11 月 18 日

4) 「認知症ケア（仮）」

平成 27 年 2 月 17 日

5) 「情報交換会（仮）」

平成 27 年 3 月 17 日

◆災害対策小委員会予定

6 月初旬に第 1 回定例会

◆全体会検討小委員会☆

1) 「映画上映会+大納涼会（仮）」

平成 26 年 9 月 12 日

会場：成城ホール

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

1) 認知症ケア研修【入門編】

平成 26 年 5 月 14 日（水）14：00～16：00

会場：成城ホール

2) ケアマネジャー研修【新任】

平成 26 年 5 月 20 日（火）13：30～17：00

会場：世田谷区民会館集会室

3) 新任職員研修

平成 26 年 5 月 22 日（木）23 日（金）9：

30～17：15

会場：研修センター

4) ケアマネリーダー養成研修

平成 26 年 6 月 10 日（火）14：00～17：00

会場：世田谷区民会館集会室

5) ケアマネジャー研修【現任】

平成 26 年 6 月 10 日（火）14：00～17：00

会場：世田谷区民会館集会室

6) 介護技術スキルアップ研修

平成 26 年 6 月 13 日（金）14：00～17：00

会場：研修センター

7) 指導的職員研修

平成 26 年 6 月 16 日（月）17 日（火）9：30～17：15

会場：研修センター

8) 認知症ケア研修【入門編】

平成 26 年 6 月 17 日（火）14：00～17：00

会場：三茶しゃれなあとオリオン

9) ケアマネジャー研修【現任】

平成 26 年 6 月 19 日（木）14：00～17：00

会場：成城ホール集会室

10) 医療知識研修

平成 26 年 6 月 19 日（木）18：30～20：30

会場：研修センター

11) ケアマネジャー研修【新任】

平成 26 年 6 月 27 日（金）13：30～17：00

会場：三茶しゃれなあとオリオン

☆ 詳しくは下記にお問い合わせください。

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：5429-3100

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

編集後記

◆新年度が始まりました。今年度も皆様のお役に立てる情報をお届けしたいと思います。(楠田)

◆桜が終わり、ハナミズキがきれいです。暖かくなりましたが油断大敵。ご自愛ください。(辻本)

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101